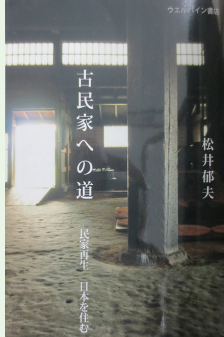




マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「古民家への道 民家再生—日本を住む」 著:松井郁夫



今号のおすすめ
ライブラリーは
こちら!



理想の古民家と巡り会い、渋川市へ移住したというご家族の記事が上毛新聞(2/28)に掲載されていました。コロナウイルスの感染拡大は、地方暮らしへの関心を高め、空き家となっていた多くの古民家を見直すきっかけにもなったようです。

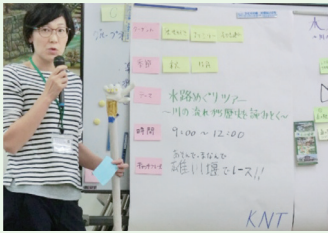
この本は、これから古民家に住みたい方、古民家再生に携わりたい方のために、その実践技術と事例が写真と図面で紹介されています。古民家というと古い暗い寒いという印象がつかまいますが、地震や台風にも耐え、気候風土に合わせた家づくりの知恵と工夫は現代の住宅づくりにもいかせると著者は考えています。古民家のよさをのこしつつ、現代の生活様式にあわせた住宅づくりのためにどのような工夫がされているのかについては、実践事例の中で詳しく紹介されていますのでそちらをご覧ください。

古くなったという理由だけで捨てられていく古民家がたくさんあるそうです。日本らしい美しい建物を残したい。美しい街並みを守りたい。古民家に残る伝統技術や資材、歴史や文化に培われた豊かな暮らしを後世に伝えたいとお考えの方におすすめです。ぜひ一読ください。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

南牧村地域おこし協力隊OB 高柳 順子



高柳 順子さん



講座の様子

令和元年度「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」に参加して、ファシリテーターの役割や、参加者を合意形成へ導いていくための秘策など様々なことを学ぶことができました。入門編、発展編、応用編という3回の講座の中で、これだけのことを体験できるということは、講座に関わっているすべての方々の想いがひとつになって、中身の濃いものに仕上げてくださっているのだなと改めて感じています。

また、ワークショップの開催・進行にあたって、参加者の意見を引き出したり、議論を円滑に進めたりする調整役のファシリテーターですが、自身が参加者の皆さんとその場を楽しむ気持ちを持つことが、話し合いを円滑にまとめていくために必要であると学ぶことができました。

参加当時は、地域おこし協力隊としてどのように地域と関わっていけばいいのかと思いをめぐらしていましたが、講座に参加して、自分自身が楽しむという「初心」に戻ることができました。この経験を今後の活動や地域活動に活かして行きたいと思えます。
※パートナーネットワーク講座は令和元年度で終了しました。

マーチィの掲示板 県・市町村人事交流を終えて

貝瀬 康斗(館林市→群馬県県土整備部都市計画課都市計画係)

平成31年度より人事交流職員として派遣され、あっという間の2年間でした。配属された当初は、経験したことのない仕事で、環境も異なり本当に毎日が不安でした。今まで自分のまちのことを考えて仕事していたものが、他のまちのことを考えて仕事をすると感じる感覚にも慣れず、気持ちを切り替えるのに時間がかかりましたが、県都市計画課の皆様の暖かいご指導のおかげで無事派遣期間を終えることができました。唯一の心残りは、前橋市で一人暮らしを始めた瞬間にコロナ禍で外出自粛になり、一人暮らしを満喫できなかったことです。また、2年間の在籍によりすっかり県の環境に慣れたため、今度は派遣元へ戻るのが不安です…

派遣元と比較すると県内外の事例や情報が入ってきやすく、政策の立案・検討等を行いやすい環境である一方で、県内の広範囲を見るためより深い知識が求められることから、実際に業務を通じてその難しさを感じました。

令和3年4月からは派遣元へと戻り、引き続き都市計画に携わるため、この2年間できた人とのつながりや学んだことを活かせるよう精一杯頑張りたいと思います。

これまで関わってきた県都市計画課の皆様をはじめ、各市町村の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

